

NPO法人さやま保育サポートの会だより

第39号 平成23年12月15日発行
 NPO法人さやま保育サポートの会
 〒350-1304 狭山市狭山台3-8-12
 04-2957-0451 <http://www.geocities.jp/votubanoouchi2006/>

よつばのおうち
 ・一時保育・狭山市家庭保育室・障害児生活サポ事業団体
 子育てプレイス奥富
 ・子育てひろば(狭山市の委託事業)
 保育サポート研究所

大地震・大津波などの自然災害と福島原発事故に「命のはかなさ」「自然への畏怖の念」「力を合わせて暮らすことの大切さ」「消えようのない悲しみ・落胆」等々、さまざまな事を体験した2011年が暮れようとしています。何があっても小さな子どもたちの命を守った東北の保育者たち。当会においても親子の皆さんと共に過ごすときを大切に、親子のさまざまな暮らしを支えるために智恵と心と力を合わせ精進したいと思います。よつばのおうちの利用者数も増加傾向になり、子育てプレイス奥富もますます賑やかになっています。日頃のご支援とご鞭撻に感謝し、第39号をお届けいたします。皆さま よいお年をお迎えくださいますように。

事務局

<会員の状況> 正会員 29名 ・ 賛助会員 13名
 新会員ご紹介 よろしくお願ひいたします。
 正会員 畦浦由紀子様 ・ 畦浦康弘様 ・ 野口政雄様
 賛助会員 野口香代子様 ・ 有本美代子様
 畦浦隼人様

<運営委員会報告>

9月26日 18:30～ 於プレイス
 10月24日 18:30～ 〃
 11月28日 18:30～ 〃
 内容:代表挨拶・会員状況報告
 よつばのおうちより
 ・ 預り状況
 ・ 保育内容や子どもの育ち等
 ・ 来月の予定や課題について
 プレイスより
 ・ 今月の利用状況
 ・ 来月の予定や課題について
 保育サポート研究所より

<臨時理事会報告>

於:よつばのおうち
 8月20日(土)14:30～
 議題:H24年度開設
 狭山市市民交流センター
 一時預かり保育室
 指定管理者応募について
 結果:応募することにする
 (株)ケイミックスと企業体として



10月6日(木)午後2時～
 狭山市役所6F会議室於
 プレゼンテーション
 10月末 選出外の知らせ。
 残念でした。

会計事務の見直し

22年度より斉藤有弘氏・忍成俊一氏
 に会計事務等をご指導いただき、事務
 が軽減されました。感謝申し上げます。

よつばのおうち

<保育実績>

年度	総延人数	時間数	月極保育	一時保育	早夜間	病後児
21	2,659	15,519	122名12,609	928名2,757	67名56	13名97
22	2,353	17,065	148名15,251	323名1,686	78名54	11名74
23	1,242	8,673	65名7,726	175名 763	87名65	18名119

23年春に3保育園の開園・増員130名があり、その影響でやってくる子どもが少なく赤字運営が続いていました。やっと秋から子どもたちが揃い、活気と共に順調な運営が戻ってきました。月極・一時・障がい児生

<寄付や贈り物>

ありがとうございます！！
 豊泉尚美様 秋永敏子様
 水村隆司様 佐々奈緒子様
 高橋 菊野様 畦浦由紀子様
 野口香代子様 宮崎崎雅代様
 有本美代子様 吉川紀子様
 本田ミイ子様 清水裕美様
 田中律子様 竹本登志子様
 大野久美子様 高橋ゆう子様

<12月の月極保育状況>

0歳児4名 *3歳児K君
 1歳児5名 祇園保育所
 2歳児5名 入園よかった！
 計 14名(内家庭保育児9名)
 ◎空きが若干名あります。
 ご相談ください。
 一時保育もどうぞ！

今後の行事予定

森のクリスマス	12月22日(木)
もちつき会	12月28日(水)
秋草学園短大キッズクラブ	
クラブ公演	1月14日(土)
お別れ会	3月末

子どもたちの姿は
 ホームページで見てね

◎0歳児のスターたちも寝ている
 だけでなく、手足を動かし、寝返り
 が打てるようになり遊ぶ姿が可
 愛らしく、知らず知らずにはチツ

子育てプレイス奥富

20年10月～21年3月

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
117	1502	1679	3181	27.18

21年4月～22年3月

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
243	3600	4307	7907	32.52

22年4月～23年3月

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
239	3316	4007	7323	30.64

23年4月～23年11月

開所日数	親	子ども	計	平均(日)
105	1398	1717	3115	29.66

満3歳を迎えた子育てプレイス奥富。今年も一日の利用者数が平均約30名と順調です。最近では第1子のときに利用されていた方が第2子、第3子を連れて来所されるケースも増えていきます。実家に帰ってくるようにおいでいただければ・・・と思っています。プレイスの窓からの景色も一変し、富士山は真っ白い雪化粧をして光り輝いています。早苗田が金色いろの穂波に変わり、刈り取りのあとにはサヤサヤと緑のひつじ田が広がっていました。その田んぼも今ではやがて来る春を静かに待っています。プレイスに集う皆さまに明るい年が訪れますように！！

保育サポート研究所

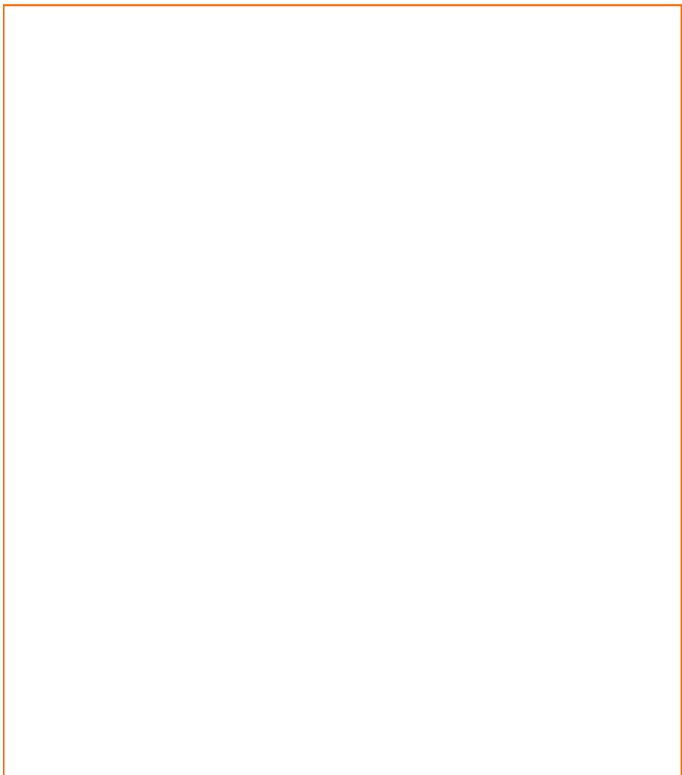
研究所の事業は、研修事業と研究活動からなっています。
研修事業として狭山市から受託したパパママお助け隊養成コースは、10月24日、講座を受講して感じたことや今後に向けての話し合いを行い、全17回の講座を無事に終えました。受講生の方々はその後も集まって交流を深めながら、12月10日に行われる狭山元気大学受講生・修了生交流の集いでのプレゼンに向けての取り組みを熱心に重ねています。講座で作成したパペット人形を活用して人形劇を演ずるとのこと。できばえが楽しみです。また日本保育サービスの保育者研修では、新人研修・中途採用者研修・園長主任研修、子育て支援研修、異年齢保育研修など多様な研修を担当する機会を得ました。

参加者の声:

- ・若い人と一緒に受講出来てよかった。
- ・狭山の地域活動を知ることが出来た。
- ・自分も他人の役に立てると思った。
- ・カリキュラムの組み方がよかった。
- ・講座や子育て支援の活

研究活動として取り組んでいる保育の感情労働研究会は、5月、9月に研究会を開催してきましたが、第11回研究会を12月25-27日に広島大学で行います。参加予定会員は15名。研究テーマは小規模データを質的分析する際に活用できる「SCAT」について、すでに収集した「保育者の保護者支援」の3園のデータを用いて、3グループに分かれて演習風に行います。ハードな学習の間には、広島のお好み焼きや美酒鍋などグルメメニューが組まれています。よく学び・よく食べ・よくおしゃべりする・・・そんな研究会になりそうです。12月時点での会員数は

|





|

|

|

